

支倉常長フェロー報告書

提出日 年 月 日



申請者	氏名	大河内 眞也
	所属・職	呼吸器内科 助教
出張期間	2010年9月17日 ～9月23日	
渡航先	スペイン バルセロナ市	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・()	
発表演題名あるいは 共同研究課題名	Multipotent stromal cell-derived stanniocalcin-1 reduces reactive oxygen species and promotes survival of injured A549 lung cancer cells through upregulation of uncoupling-protein 2 and induction of the Warburg effect	
得られた成果など	細胞内過酸化物質（Intracellular Reactive Oxygen Species）は各種呼吸器疾患（閉塞性肺疾患、間質性肺疾患、肺癌）に大きく関与することが近年の研究で明らかにされ、注目を浴びている分野の一つである。申請者は間葉系幹細胞（MSCs）はミトコンドリア関連ホルモン STC1 分泌を通して肺胞上皮細胞のミトコンドリア非共役タンパク UCP2 発現を調整することにより、細胞内の ROS 産生を調整しうることを見出し、その成果を ERS 年次総会の E-コミュニケーションセッション New insights into reactive oxygen species に於いて Multipotent stromal cell-derived stanniocalcin-1 reduces reactive oxygen species and promotes survival of injured A549 lung cancer cells through upregulation of uncoupling-protein 2 and induction of the Warburg effect（2010年9月21日8時30分から10時30分）と題する発表を行った。ヨーロッパ各地の当該分野の専門家と意見を交換するとともに、各国の研究内容についての情報を収集した。さらに関連分野として呼吸器疾患の病態におけるミトコンドリアの関与、間質性肺炎の新規治療法などの情報収集を行った。	

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。